

【別紙資料】

各科目の内容（抜粋）

※黒枠の内容について、講話、指導をお願いします。

（１）１日目（7/22(木), 7/27(火)）

講話「災害と避難所生活」（13：00～14：50）

〔場所〕 諫早青少年自然の家 自然環境学習館

〔講師〕 ・特定非営利活動法人 日本防災士会長崎県支部
支部長 旭 芳郎 氏 事務局長 川浪 良次 氏

〔内容〕 ・避難所運営ゲーム(HUG)の実施

※この後、生徒たちは「野外炊事実習」「避難所生活体験」を行います。

（２）２日目

※フィールドワークまでに、生徒たちは次のような活動を行っています。

① 「野外炊事実習」「避難所生活体験」を行ったことで感じた「気づき」、自身の知識と実際の体

験との「ずれ」や「隔たり」を班で共有する。

② 共有した「気づき」や「ずれ」、「隔たり」の原因を探ることで「課題／なぜそうなった」を導

き出し、班で共有する。

③ 共有した「課題」を解決するための「仮説／だからどうする」を考え、共有する。

フィールドワーク「仮説の検証」（14：00～15：50）

〔場所〕 諫早青少年自然の家 自然環境学習館，野外炊事場

〔講師〕 ・特定非営利活動法人 日本防災士会長崎県支部
支部長 旭 芳郎 氏 事務局長 川浪 良次 氏
・諫早青少年自然の家職員

〔内容〕 講義・演習で共有した「仮説／だからどうする」について、講師のアドバイスや質疑

応答、各フィールドを活用しながら検証し、より有効な解決策（仮説）を考える。

※〔探究の高度化〕を意識させる。

- ・目的と解決の方法に矛盾がない（整合性）
- ・適切に資質、能力を活用する（効果性）
- ・焦点化し深く掘り下げる（鋭角性）
- ・幅広い可能性を視野に入れる（広角性）

※必要に応じて、仮説の統合や絞り込みを行う。